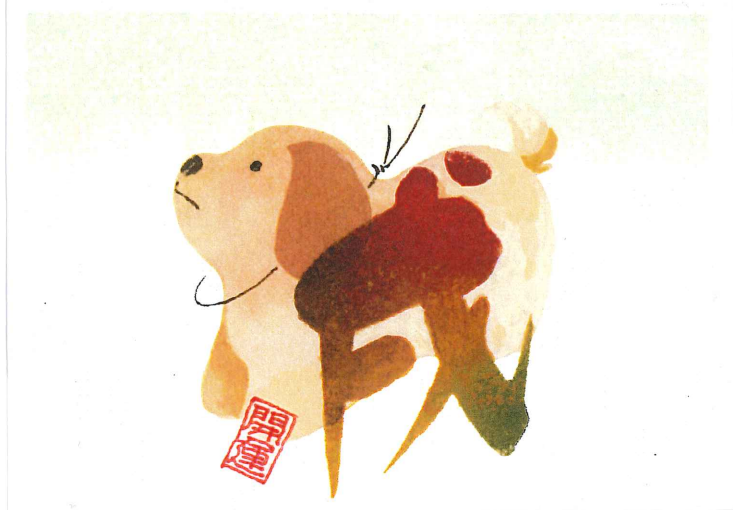


謹賀新年



去年は、森友・加計問題に象徴されるように安倍政権下の政治の私物化が表面化しましたが、真面目に働く者が馬鹿を見るような世の中になるようでは日本の将来に明日は無いと思います。集団的自衛権の解釈変更や安保法制の強行採決など、立憲民主主義が踏みにじられ、専守防衛の枠を超えた軍備増強が進められ、戦後憲法9条の下で築き上げてきた『日本の平和』が壊されようとしています。

そのような中であって、ICANのノーベル平和賞授与式でのサーロー節子さんと文学賞受賞者イシグロ氏の平和に向けたスピーチは、一筋の光明と言えものでした。日本は今、世界に誇る平和憲法9条を捨てるのか否かの重大な岐路に立たされています。

戦争は、防衛を名目に始まる。
戦争は、兵器産業に富をもたらす。
戦争は、すぐに制御が効かなくなる。
戦争は、兵士だけでなく、老人や子どもにも災いをもたらす。
精神は、操作の対象物ではない。
生命は、誰かの持ち駒ではない。
海は、基地に押しつぶされてはならない。
空は、戦闘機の爆音に消されてはならない。

(自由と平和のための京大有志の会「声明書」より抜粋)

今年が皆様にとって素晴らしい年になりますように

2018年 元旦

市民連合わかやま